

## 貸借対照表

令和4年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固 定 資 産</b>	<b>37,166,617,012</b>	<b>36,589,466,375</b>	<b>577,150,637</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>18,434,548,227</b>	<b>19,027,481,787</b>	<b>△ 592,933,560</b>
土 地	2,487,342,315	2,487,342,315	0
建 物	8,252,260,143	8,760,248,051	△ 507,987,908
構 築 物	1,159,315,652	1,294,115,951	△ 134,800,299
教育研究用機器備品	366,988,978	385,309,701	△ 18,320,723
管理用機器備品	26,293,924	28,022,309	△ 1,728,385
図 書	6,142,347,212	6,072,443,457	69,903,755
車 輛	3	3	0
<b>特 定 資 産</b>	<b>8,848,589,123</b>	<b>8,499,172,747</b>	<b>349,416,376</b>
第2号基本金引当特定資産	1,133,814,414	833,814,414	300,000,000
第3号基本金引当特定資産	4,742,251,206	4,737,301,681	4,949,525
退職給与引当特定資産	2,910,918,869	2,915,706,462	△ 4,787,593
大倉学芸振興会引当特定資産	12,324,634	12,350,190	△ 25,556
120周年記念留学支援 折元奨学金引当特定資産	49,280,000	0	49,280,000
<b>そ の 他 の 固 定 資 産</b>	<b>9,883,479,662</b>	<b>9,062,811,841</b>	<b>820,667,821</b>
電 話 加 入 権	3,780,928	3,780,928	0
有 価 証 券	7,879,698,734	8,059,030,913	△ 179,332,179
特 定 金 銭 信 託	2,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000
<b>流 動 資 産</b>	<b>8,036,138,744</b>	<b>7,753,662,974</b>	<b>282,475,770</b>
現 金 預 金	7,808,374,963	7,606,983,139	201,391,824
未 収 入 金	224,903,793	131,601,944	93,301,849
前 払 金	1,663,650	11,636,916	△ 9,973,266
立 替 金	1,196,338	3,440,975	△ 2,244,637
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>45,202,755,756</b>	<b>44,343,129,349</b>	<b>859,626,407</b>

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固 定 負 債</b>	<b>2,912,979,365</b>	<b>2,915,706,462</b>	<b>△ 2,727,097</b>
長期未払金	2,060,496	0	2,060,496
退職給与引当金	2,910,918,869	2,915,706,462	△ 4,787,593
<b>流 動 負 債</b>	<b>3,220,096,264</b>	<b>3,267,693,748</b>	<b>△ 47,597,484</b>
未払金	115,157,994	95,522,180	19,635,814
前受金	2,746,942,360	2,822,338,060	△ 75,395,700
預り金	357,995,910	349,833,508	8,162,402
<b>負債の部合計</b>	<b>6,133,075,629</b>	<b>6,183,400,210</b>	<b>△ 50,324,581</b>
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>基 本 金</b>	<b>40,212,440,649</b>	<b>39,809,468,941</b>	<b>402,971,708</b>
第1号基本金	33,810,375,029	33,712,352,846	98,022,183
第2号基本金	1,133,814,414	833,814,414	300,000,000
第3号基本金	4,742,251,206	4,737,301,681	4,949,525
第4号基本金	526,000,000	526,000,000	0
繰越収支差額	△ 1,142,760,522	△ 1,649,739,802	506,979,280
翌年度繰越収支差額	△ 1,142,760,522	△ 1,649,739,802	506,979,280
<b>純資産の部合計</b>	<b>39,069,680,127</b>	<b>38,159,729,139</b>	<b>909,950,988</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>45,202,755,756</b>	<b>44,343,129,349</b>	<b>859,626,407</b>

注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

1) 徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

2) 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額3,890,872,421円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

2) 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法は、純額表示である。

2. 重要な会計方針の変更等

なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

15,374,793,202円

4. 徴収不能引当金の合計額

0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額 なし
6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 2,747,328円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策  
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項
- (1) 有価証券の時価情報
- ① 総括表

(単位 円)

	当年度 (令和4年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	11,300,590,828	12,465,301,445	1,164,710,617
（うち満期保有目的の債券）	(9,605,190,828)	(10,048,519,664)	(443,328,836)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	6,169,945,906	5,967,203,167	△202,742,739
（うち満期保有目的の債券）	(4,184,244,000)	(4,148,382,247)	(△35,861,753)
合 計	17,470,536,734	18,432,504,612	961,967,878
（うち満期保有目的の債券）	(13,789,434,828)	(14,196,901,911)	(407,467,083)
時価のない有価証券	—	—	—
有価証券合計	17,470,536,734	—	—

※時価が貸借対照表計上額を超えるもの及び時価が貸借対照表計上額を超えないものには特定金銭信託を含む。

② 明細表

(単位 円)

種類	当年度 (令和4年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	14,984,834,828	16,005,731,911	1,020,897,083
株式	—	—	—
投資信託	485,701,906	400,779,896	△84,922,010
貸付信託	—	—	—
その他	2,000,000,000	2,025,992,805	25,992,805
合 計	17,470,536,734	18,432,504,612	961,967,878
時価のない有価証券	—	—	—
有価証券合計	17,470,536,734	—	—

※その他には特定金銭信託を含む。

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	25,599,486円	11,743,166円